

中世の農村景観を今なお残す

ほねでらむらしょうえんいせき

骨寺村莊園遺跡

／岩手県一関市

かつて「^{ほねでらむら}骨寺村」と称された、一関市巖美町の本寺地区。ここは奥州藤原氏ゆかりの中尊寺^{きょうどうべつとう}経蔵別当（※現代の管理者）の所領でした。中尊寺に伝わる絵図に描かれた中世の農村景観を現在もとどめている希少な遺跡です。



骨寺村莊園交流館

骨寺村莊園遺跡の歴史や自然・生活文化等を紹介した展示コーナーに加えて、地域の特産品をはじめとしたお土産を扱う産直、レストランの入った施設は必見です。展示コーナーでは映像やジオラマを使って、楽しく骨寺村莊園遺跡について知ることができます。

／



Check



▲骨寺村莊園交流館【^{わかみこてい}若神子亭】正面

◀交流館内の産直コーナー



▲南部一郎かぼちゃを練り込んだ「黄金はっと」

南部一郎かぼちゃは長い形と甘さが特徴の、本寺地区の特産品です。交流館のレストランでは、南部一郎かぼちゃを練り込んだうどんや一関の郷土料理「はっと」が味わえます。地域のおいしさをぜひ体験してみてください。

骨寺村莊園交流館
一関市巖美町字若神子241-2
<https://www.honedera.jp/ind-ex.html>

▲この場所をもっと知るならここからチェック！

